

■ ハーフプレキャスト製大型ボックスカルバート

スパンザウォール

●概要 スパンザウォール工法は、プレキャスト部材と現場打コンクリートを併用したハーフプレキャスト・ボックスカルバート。超大スパン構造や形状、寸法に対して設計の自由度が高いボックスカルバートを実現する。(最大スパン14m)

●特徴 ■コスト削減 プレキャスト部材と現場打コンクリートの併用により、型枠の大幅な省力化や型枠支保工などの削減が可能となり、工期の短縮にもつながる。■底版構造 現場打ちボックスカ

ルバートと同様のRC構造。側壁底版との接合部はコンクリートのせん断キーと機械式継手から成り、一体打ちした底版と同等の体力を有している。■頂版構造 立体トラス筋を有するプレキャスト製頂版スラブを型枠として、その上に配筋・現場打ちコンクリートを打設した合成スラブ構造。側壁との接合部はフック継手とし、一体打ちと同等の体力を有する。

●実績 国土交通省・NEXCO・地方自治体等



地中構造物研究会

会員

共和コンクリート工業(株)・ケイコン(株)・前田製管(株)・
(株)ヤマウ・日本カイザー(株)・ベルテクス(株)

〒102-0083 東京都千代田区麴町5-7-2

ベルテクス(株)内

TEL.03-3556-0472 FAX.03-3556-2721